


胸・腰椎圧迫骨折スケジュール

★この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により予定通りではないこともありますので、予めご承知ください
 下関市立市民病院 H27年11月12日作成

月・日	/	/	/
入院日		コルセット装着後	14日目
・目標	安静の必要性和内容が理解できる	異常を早期発見できる。痛みのコントロールができ、身の回りのことが自分でできる。日常生活の留意点が理解できる	退院予定日
・食事	痛みに応じてベットを上げ食事ができます。食事形態の相談をします。		
・排泄	ベット上で排泄します(尿管を挿入します)	安定した歩行ができたなら尿管を抜きます	
・安静度	ベット上安静です。	コルセットを装着し、見守りのもと徐々に安静を拡大していきます。	
・保清	寝たままのお風呂、もしくは体を拭きます	痛みのコントロールが良好であればシャワー指導があります	
・治療 ・処置 ・検査	<ul style="list-style-type: none"> ・内服中の薬のチェックがあります。いつも飲んでる薬を持参してください ・リハビリを開始します ・コルセットを採型します 		
・肺梗塞予防	パンフレットによる指導があります。弾性ストッキング(足を適度に圧迫して血流量を増加させるための靴下です。病院で用意します)を装着し、運動による予防を行います		
・説明 ・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師よりオリエンテーションを行います ・転院について主治医、看護師より説明があります(ご家族の同席をお願いします) 	理学療法士・看護師より日常生活について説明があります。 コルセットの装着が自分でできるように練習します。 治療の進行に合わせて、医師や看護師・リハビリスタッフ・薬剤師・栄養士・医療相談員がその都度、説明に伺わせていただきます。ご家族にも説明をさせていただくことがあります。病棟より、ご家族様へ連絡をさせていただくことがありますのでご了承ください。 ※保険等の書類の必要な方は、退院決定後1階11番窓口にご提出下さい。	

●準備するもの

コルセットの下に身につける肌着を用意してください。他に、薬のみ、おしりふき、必要な方はエプロンをお願いします

継続的なリハビリテーションが必要となる患者様には、当院での治療終了後、リハビリを専門的に行う病院へ転院していただくこととなります。ご不明な点は医師や看護師、医療相談員にお尋ねください。

病名:

主治医:

受持ち看護師:

患者様氏名: